

## 【講義2】くずし字について

くめ しおり  
栞 汐里

### 一、はじめに

この講義では、日本古典籍を取り扱う上で必須の教養である「くずし字」について、基礎知識の概説と、初歩的な課題による読解練習を行う。

「くずし字」は、古典籍や古文書などの前近代の資料にみられる文字表記であるが、資料の時代、ジャンル、個人によって崩し方の差異が大きく、その解読の方法も、表記の種類によって異なる。この講義では、「くずし字」習得の第一歩として、「あ」から「ん」までの四十八の変体仮名（平仮名のくずし）を中心に読解練習を行う。加えて、読みたい資料に合わせた辞典・教材類の活用法について解説する。  
(過去5年の担当教員：齋藤真麻理、海野圭介、恋田知子、岡田貴憲)

### 二、くずし字とは

文字資料のうち、楷書かいしよの点画てんかくを省略した手書き文字、そして手書き文字をもとにした版本の文字のことを「くずし字」という。

書道史では点画の省略段階を「草書そうしよ」「行書ぎようしよ」等に区分するが、歴史学・日本文学・書誌学の研究分野では、それらを包括的に「くずし字」と総称する。なお書道史研究の対象外とされやすい近世文書や古典籍の文字については、明確な区分が存在しないことから、「くずし字」という用語がそのまま一般的に使われている。

「くずし字」は古典籍や古文書などの表記に用いられてきたが、明治時代以降、金属活版印刷の普及や仮名字体の統一に伴って衰退した。その後の例として残るものとしては、速記性・秘匿性を求められる手書きの書簡類や、デザイン性を求められる看板類などがある。

### 三、くずし字の特徴

#### 1) 変体仮名

「くずし字」には、現行の標準字体の仮名に加えて、それとは異なる字体の仮名＝変体仮名が多く用いられる。変体仮名とは、明治33年(1900)の「小学校令施行規則」で採用されなかった仮名で、古典籍や古文書を読む上で必須。それぞれの仮名の元となった漢字を「字母」という。

#### 2) 漢字の省略、異体字・俗字

漢字の「くずし字」は、楷書の<sup>かいしよ</sup>点画<sup>てんかく</sup>を省略した「草書」<sup>そうしよ</sup>「行書」<sup>ぎやうしよ</sup>で書かれるほか、通行の字体とは異なる<sup>いたいじ</sup>異体字<sup>ぞくじ</sup>・俗字をしばしば用いる。点画の省略方法には、一定の法則があり、時代・地域・個人単位で特徴がみられる場合も多い。

#### 3) 連綿体、踊り字

「くずし字」には、二字以上の文字を続けて書く<sup>れんめんたい</sup>連綿体(つづけ字)や、同じ文字や語句を繰り返すときに用いる「>」「<」「々」「\」「/ \」(くの字点)などの<sup>おど</sup>踊り字<sup>じ</sup>とよばれる繰り返し符号が頻出する。

連綿体は一字ずつの区分が困難な場合もあり、「<sup>もうしそうろう</sup>申候」「<sup>ごさそうろう</sup>御座候」などの敬語の定型句は、省略の大きな連綿体にある場合がある。

また踊り字は連綿の中に紛れることも多く、ともに注意が必要。踊り字は、漢字(々と)・平仮名(>)・片仮名(\)と符号が使い分けられているが、資料によっては、その使い分けが曖昧な場合もある。

### 四、くずし字の読み方

#### 1) 漢字と仮名を判別する

崩して書かれている文字が、漢字なのか仮名なのかを判別する。その手がかりとして、変体仮名の<sup>じ</sup>字母<sup>ぼ</sup>を覚えることから始める。変体仮名の字母は全部で322種あるが、その中でも使用頻度の高い字母150種（48音×約3）をまずは習得する。

## 2) 前後の文章から文字を類推する。

読めない文字があっても、文脈をおさえながら、最適な読みを試みる。

古典籍の場合、読み始めは活字化された本文を参考にしながら読むと、その本の表記の特徴を捉えることができる。

特定の地名や人名などは、判別が難しいため、地名辞典や人名辞典を活用する。

## 3) 清音と濁音の判別

基本的に古典籍の表記では、文字に清濁の別がついていない（稀に濁点などが付いている資料もある）。濁点「ㇿ」や半濁点「°」は文章の前後で判断して、解読する側で読むこととなる。同じ語でも時代によって清濁が異なる場合があるため、時代別の辞書などで確認する。

### 参考文献

#### 【辞典・字典】

- ・ 児玉幸多『くずし字解読辞典 普及版』東京堂出版、1979年 \*起筆順検索
- ◎ 児玉幸多『くずし字用例辞典』東京堂出版、1981年 \*崩し方が段階的に説明
- ・ 笠間影印叢刊刊行会編『字典かな一写本を読む楽しみ一』笠間書院、2003年  
\*古今の名筆
- ・ 江守賢治『草書検索字典』三省堂、2007年
- ・ 法書会編『五體字類 改訂第四版』西東書房、2014年 \*楷・行・草・隸・篆

#### 〈異体字・俗字を読む〉

- ・ 日外アソシエーツ編集部『漢字異体字典』日外アソシエーツ、1994年

#### 〈資料の時代・ジャンルごとに読む〉

- ・ 林英夫監修『新編 古文書解読字典』柏書房、1993年 \*江戸時代～明治初期

- ・波多野幸彦監修『くずし字辞典』思文閣出版、2000年 ＊江戸期のくずし字解説
- ・根岸茂夫『江戸版本解説大字典』柏書房、2000年
- ・林英夫監修・柏書房編集部編『入門 古文書小事典』柏書房、2005年

＊戦国期～明治期

〈意味を調べる〉

- ・中村幸彦・岡見正雄・阪倉篤義編『角川古語大辞典』角川書店、1982—1999年
- ・上代語辞典編修委員会編『時代別国語大辞典』上代編、三省堂、1967年
- ・室町時代語辞典編修委員会編『時代別国語大辞典』室町時代編、1985—2001年

### 【教材】

- ・吉田豊『寺子屋式古文書手習い』柏書房、1998年
- ・アダムカバット『妖怪草紙—くずし字入門』柏書房、2001年
- ・吉田豊『寺子屋式古文書女筆入門』柏書房、2004年
- ・吉田豊『寺子屋式続古文書手習い』柏書房、2005年
- ・油井宏子監修・柏書房編集部編『古文書検定 入門編』柏書房、2005年
- ・兼築信行『一週間で読めるくずし字 伊勢物語』淡交社、2006年
- ・兼築信行『一週間で読めるくずし字 古今集・新古今集』淡交社、2006年
- ・飯倉洋一編『アプリで学ぶくずし字 くずし字学習支援アプリ KuLA の使い方』笠間書院、2017年 ＊アプリ・Web サイト
- ・油井宏子『くずし字辞典を引いて古文書を読もう』東京堂出版、2019年
- ・「みんなで翻刻」国立歴史民俗博物館・東京大学地震研究所・京都大学古地震研究会  
<https://honkoku.org/>

問題1 次のくずし字を読んでみましょう。

<p>兎</p> <p>うさぎ</p> <p>ウサギ</p> <p>⑩ うさぎのわを</p> <p>あむきんうさぎ</p>	<p>猴</p> <p>さる</p> <p>サレ</p> <p>⑨ きぎのさのかり</p> <p>ひしやねきんうさぎ</p>	<p>猫</p> <p>ねこ</p> <p>ネコ</p> <p>⑧ ねをかひつくる</p> <p>ねをきんうさぎ</p>	<p>牛</p> <p>うま</p> <p>ウマ</p> <p>⑦ うまのつね</p> <p>まねうま</p>	<p>馬</p> <p>うま</p> <p>ウマ</p> <p>⑥ うまくらあむ</p> <p>あむびあうま</p>	<p>虹</p> <p>おとにじ</p> <p>⑤ おとあうつ</p> <p>あふこのみ</p>	<p>雉</p> <p>きとキジ</p> <p>④ きとのこま</p> <p>こをおのふ</p>	<p>朝顔</p> <p>あさがお</p> <p>アサガハ</p> <p>③ あさのがのあむ</p> <p>あさがおのあさ</p>	<p>酸漿</p> <p>あづき</p> <p>ホ、ジキ</p> <p>② あづきをふく</p> <p>せんありほづき</p>	<p>顔</p> <p>かほ</p> <p>カホ</p> <p>① かほをあらふ</p> <p>うまくらあむ</p>
---	--	--	---	--	--	--	---	---	--

国立国会図書館蔵『小学入門書取本』明治9年（1876） DOI:10.11501/901556

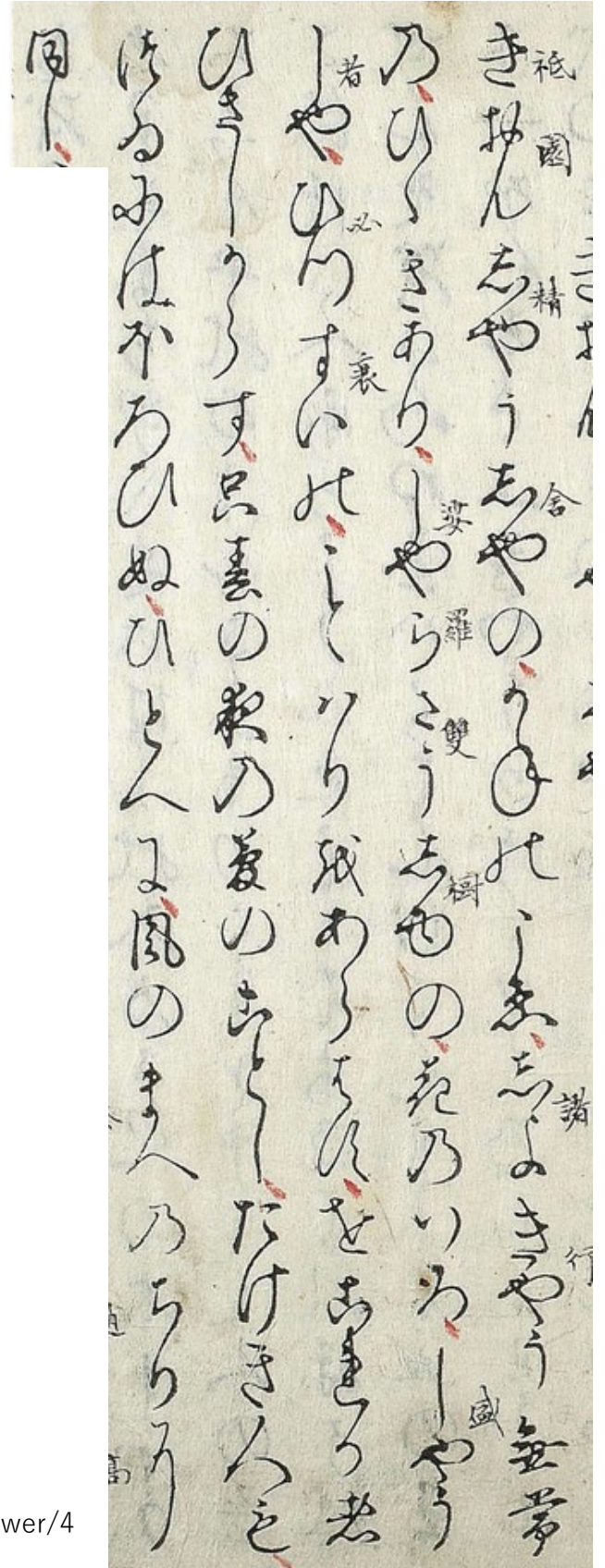
- ① かほをあらふ  
うる  しきか
- ②  づきをふく  
せん  りほづき  
ま  らうし
- ③ あさが  の  へ  
かき  のあさ
- ④ きじのこ   
こをおもふきじ
- ⑤  じ  ら  る   
ゆふ   の  じ
- ⑥ うま  くらおく  
あらびあう
- ⑦ うしのつ
- ⑧  こをかひつくる  
   をとらぬ
- ⑨ さるのきの  り  
ひとまね  るさる
- ⑩ うさぎのあ   
 むきんうさ

※くずし字辞典等お持ちでない方はこちらに掲載されている表などを活用してください。

国文学研究資料館 > 古典に親しむ > くずし字を読む

<https://www.nijl.ac.jp/koten/kuzushiji/post.html>

問題2 次の文章を読んでみましょう。



5 4 3 2 1

きおんしやうしやの   のこゑ  よきやう無常

ひつきありしやらさう  ゆの花  いろしやう

しやひ  すい  こと  り  あら  を  者

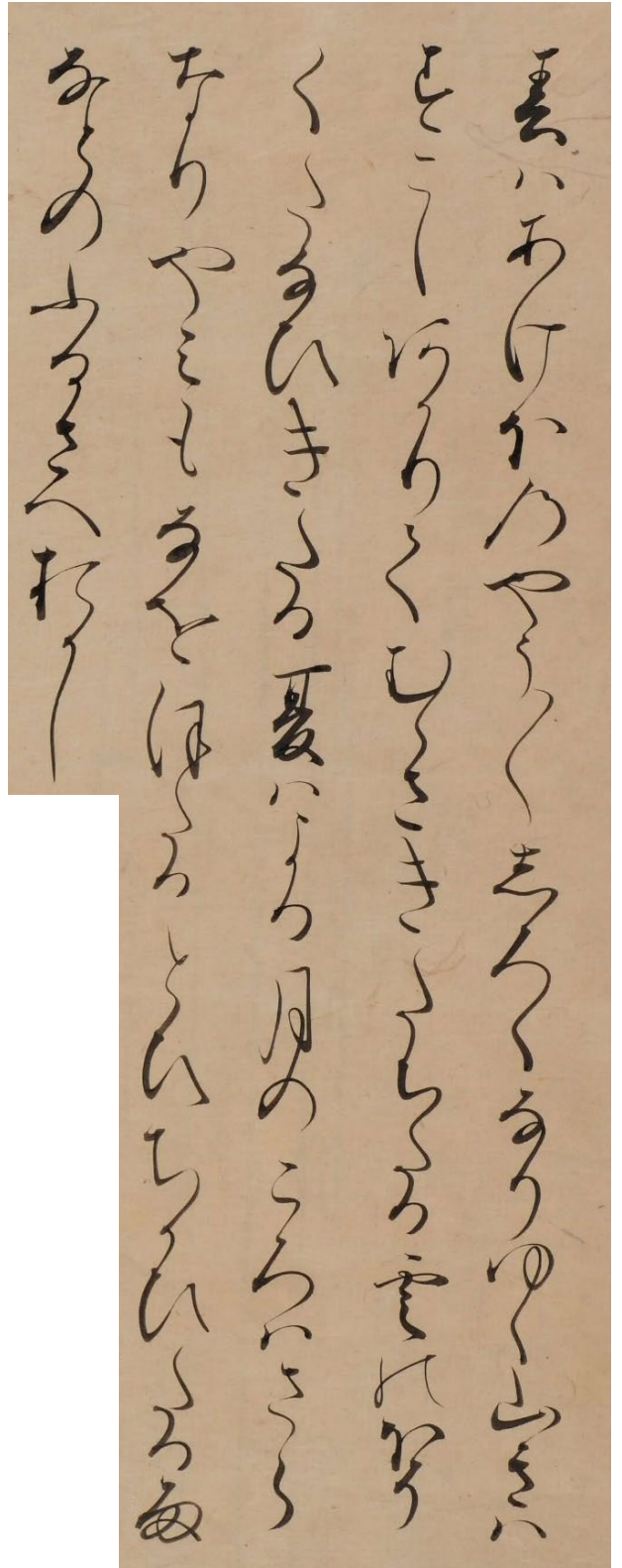
ひさし  らす只春の夜の夢の  としたけき人も

ゐ  は  ろひぬひとへ  風のまへ  ちり

同し

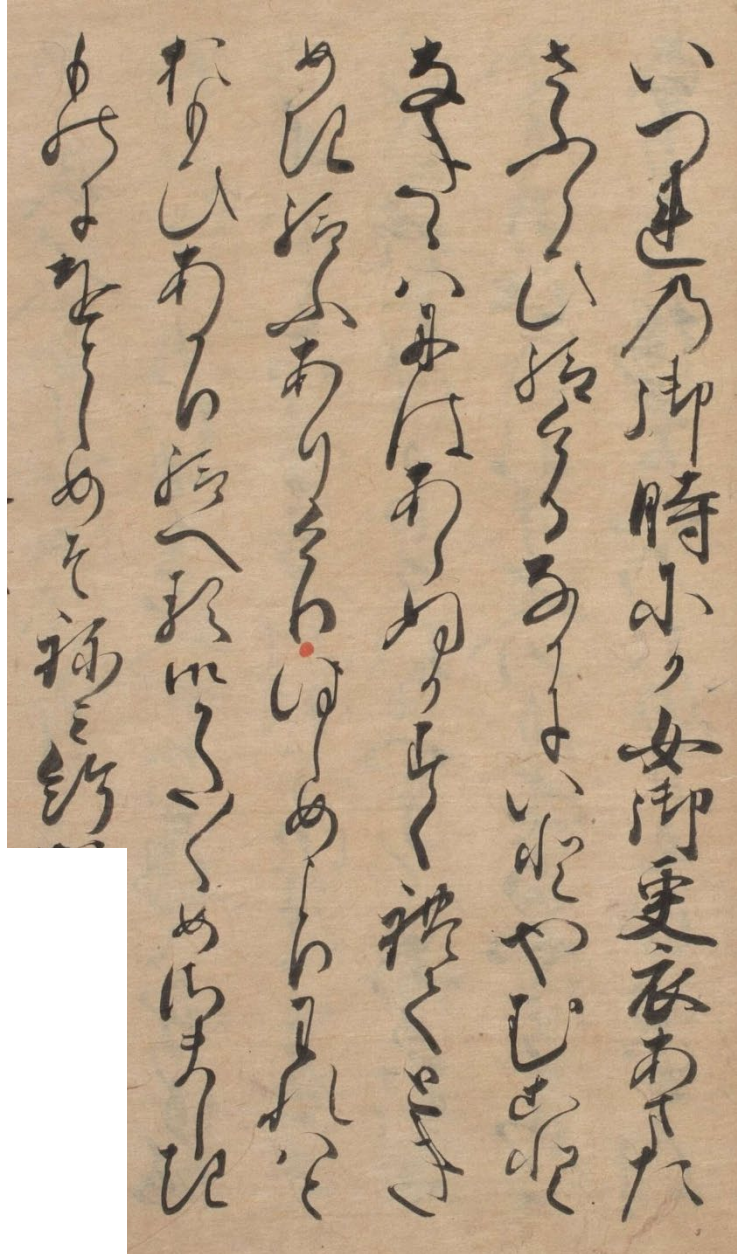
問題3 次の文章を読んでみましょう。

な	な	く	<input type="checkbox"/>	春
の	り		<input type="checkbox"/>	は
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	も	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	やう
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	く
<input type="checkbox"/>	と	夏	む	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	ひ	は	ら	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	よ	さ	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	る	き	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	雲	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	雨	む	<input type="checkbox"/>	山
		ら	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



4 3 2 1

問題4 次の文章を読んでみましょう。



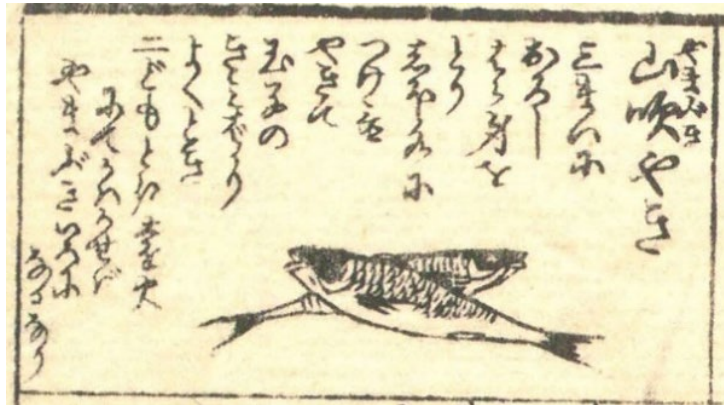
6 5 4 3 2 1

- いつ  の御時   女御更衣あ  た
- さふらひ給  る   い  やむ
- き   はあらぬ   く   とま
- め  給ふあり  りはしめより  れ  と
- もひあ  り給へ  御  たくくめ  まし
- も   をとしめそ   給





参考 次の文章を読んでみましょう。



①

山吹やき

身

水

置

玉子の

よく

二どもとき遠火

ば

②



蛸

いたつて

に

なる

なり